

平成 17 年 1 月 24 日

各 位

会社名 アンジェス MG 株式会社  
代表者代表取締役社長 山田 英  
(コード番号 4563 東証マザーズ)  
問い合わせ先: 社長室マネージャー  
林 毅俊  
電話番号: 03-5730-2753

**当社を含む研究開発型ベンチャー企業コンソーシアムが  
独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の助成事業に採択  
- NF B デコイオリゴを用いた IBD 治療薬を開発へ -**

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下、NEDO)は、民間企業及び研究開発型ベンチャー等の実用化開発を支援することを目的として、平成 16 年度研究開発型ベンチャー技術開発助成事業の研究テーマを公募しておりましたが、この度、当社を含むベンチャー企業コンソーシアムによる NF B デコイオリゴを用いた IBD (Inflammatory Bowel Disease、炎症性腸疾患) 治療薬開発プロジェクトが、同助成事業の対象として採択されましたのでお知らせいたします。

IBD は、炎症性大腸炎やクローン病などに代表される疾患で、国内患者数は約 10 万人と推定されますが、生活習慣の欧米化とともに急速に増加しております。また、国内より欧米の方が罹患率は高く、米国患者数は 100 万人以上と報告されております。

しかしながら、IBD の特に重症例に関しては、手術を行なう以外には未だ有効な治療法がなく、新しい治療薬の開発が切望されている疾患領域です。

NF B デコイオリゴは、アトピー性皮膚炎、関節リウマチなどの治療薬として当社が開発を進めている核酸医薬です。NF B デコイオリゴは、炎症の原因となる転写因子を特異的に抑制するという特徴があることから、当社では NF B デコイオリゴを IBD 治療薬へ応用する可能性を検討しておりました。これまでに実施した動物試験等において、IBD 治療薬として有効である可能性が明らかになってきたため、この度、同治療薬開発プロジェクトが NEDO の助成事業の対象として採択されました。

この開発プロジェクトは、当社の他、株式会社ジーンデザイン(以下、ジーンデザイン)、ジェノメディア株式会社(以下、ジェノメディア)、コーディネーターとしてバイオ・サイト・キャピタル株式会社(以下、BSC)の 4 社によるコンソーシアムにより実施され、以下の役割分担のもとで開発を進めてま

います。

BSC:	コーディネーターとしてプロジェクトの総合的な管理
ジーンデザイン:	NF- $\kappa$ B デコイオリゴ(核酸医薬)の配列や構造などのドラッグデザイン
ジェノミディア:	デリバリーシステム開発及び前臨床試験の実施
当社:	前臨床試験の実施及び臨床試験の準備

コンソーシアムに参加する企業は、今回の NEDO 助成事業への採択により、IBD の治療薬開発に必要な研究開発費として、原則として2年間に渡ってその開発費用の 3 分の 2 に相当する助成金を受取ることができます。平成 17 年度については年間約 2.7 億円の助成金を予定しており、NF- $\kappa$ B デコイオリゴを用いた IBD 治療薬開発プロジェクトの前臨床試験を進めるうえで、資金面からのサポートを受けることができます。

## <ご参考>

### 1. NF- $\kappa$ B(nuclear factor-kappa B)

NF- $\kappa$ B は、サイトカインや接着因子など免疫反応に関する遺伝子の発現を調節する役割をもつ転写因子です。NF- $\kappa$ B がゲノム上の結合部位に結合すると、免疫反応に関する遺伝子が過剰に発現します。このため、NF- $\kappa$ B は、免疫反応が原因となるアトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチへの関与が指摘されています。

### 2. デコイ

遺伝子は、転写因子がゲノムに結合してスイッチが入りますが、デコイは、そのゲノム上の転写因子結合部位と同じ配列を含む二重鎖の短い核酸で、体内に投与すると転写因子がゲノムに結合することを阻害して遺伝子の働きを抑えます。

### 3. NF- $\kappa$ B デコイオリゴ (NF- $\kappa$ B decoy oligodeoxynucleotide)

NF- $\kappa$ B デコイオリゴは、NF- $\kappa$ B に対するデコイであり、当社では、アトピー性皮膚炎、乾癬や関節リウマチなど免疫反応を原因とする疾患の治療薬として開発しております。

### 4. IBD(Inflammatory Bowel Disease、炎症性腸疾患)

IBD は、大腸や小腸の粘膜に慢性の炎症や潰瘍を引き起こす原因不明の疾患のことで、具体的には、潰瘍性大腸炎とクローン病のことで、

潰瘍性大腸炎とは、大腸の粘膜にびらんや潰瘍ができる炎症性腸疾患のことで、

一方で、クローン病とは、若年者に多い疾患で、口腔から肛門までの全消化器官を侵しうる炎症性疾患のことで、特に小腸の末端部に生じる場合が多い特徴があります。

国内患者数は約 10 万人、米国患者数は 100 万人以上と推定されます。

## 会 社 概 要

株式会社ジーンデザイン (Gene Design Inc.)

本 社：大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 7 番 15 号

代表取締役社長：湯山 和彦

設 立：2000 年 12 月

資 本 金：18 百万円 (2004 年 10 月末現在)

従業員数：17 名 (2004 年 12 月末現在)

売 上 高：103 百万円 (2004 年 10 月期)

事業内容：DNA 及び RNA 受託合成・新規核酸合成技術の開発など

バイオ・サイト・キャピタル株式会社 (Bio-Sight Capital, Inc.)

本 社：大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 7 番 15 号

代表取締役社長：谷 正之

設 立：2002 年 12 月

資 本 金：32 百万円 (2004 年 12 月末現在)

従業員数：4 名 (2004 年 12 月末現在)

事業内容：投資事業組合の管理・運営事業、インキュベーション事業、研究施設の賃貸事業

ジェノミディア株式会社 (GenomIdea Inc.)

本 社：大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 7 番 15 号

代表取締役社長：中塚 琢磨

設 立：2002 年 7 月

資 本 金：196 百万円 (2004 年 9 月末現在)

従業員数：24 名 (2004 年 12 月末現在)

売 上 高：101 百万円 (2003 年 12 月期)

事業内容：遺伝子治療用ベクター及び DDS の研究開発、新規有用遺伝子及び分子の探索など

大株主：アンジェス MG 株式会社 (61.6%)

以 上